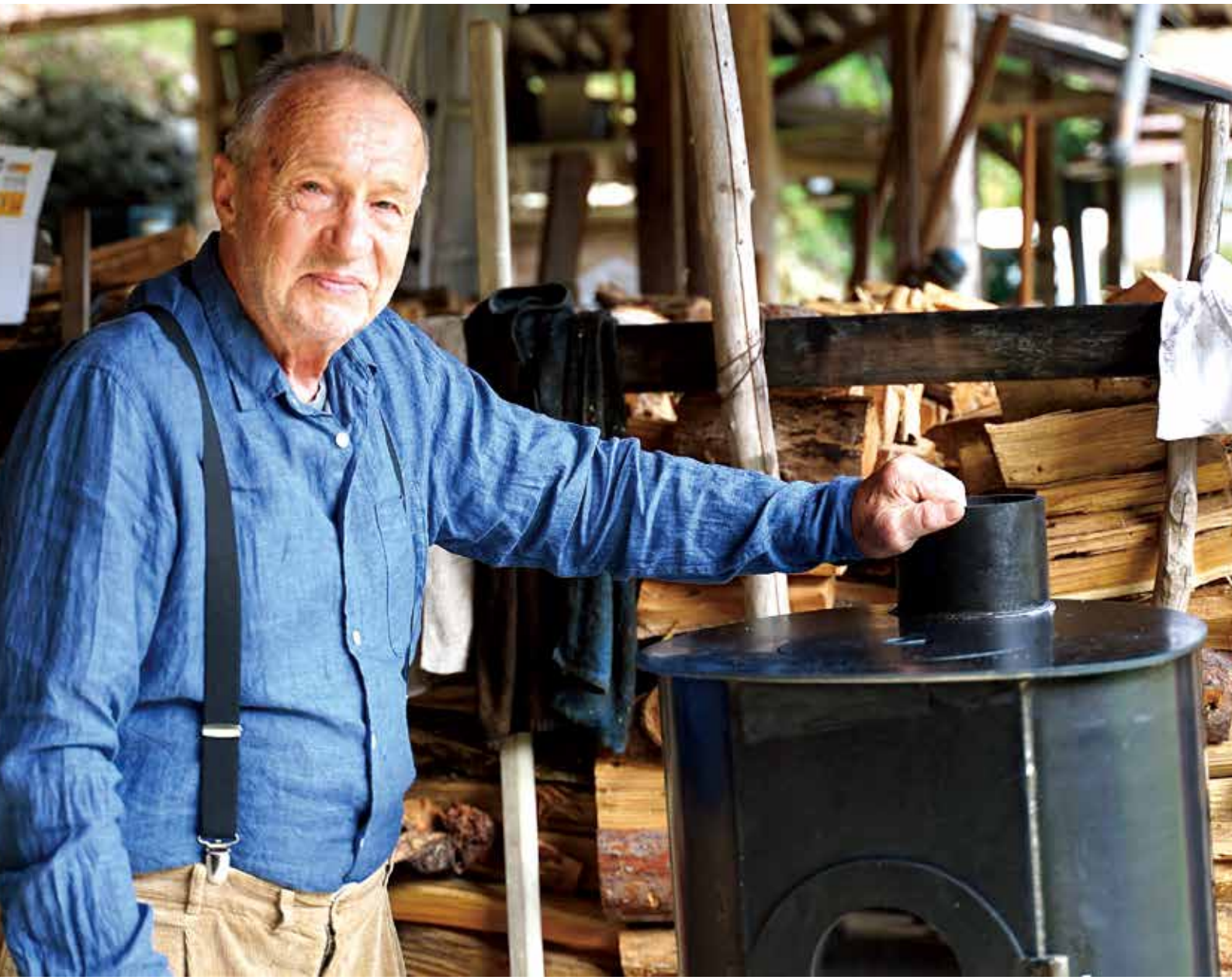
NAKAGAWA VILLAGE COUNCIL

# 議会だより

No.146
2026.11.16
発行



イエルカストーブ　イエルカ・ワインさん（桑原在住）

2-3 第18期中川村議会スタート　議長・副議長　あいさつ
4-5 令和7年度決算
6-7 陳情
8-10 決算特別委員会
11 現地視察レポート
12-16 一般質問
16-17 議会チョコっと訪問
18 総代さんこんにちは、議員研修
19 モニターのみなさんの声
20 なかがわの匠、編集後記

議会だより
最新号は
こちらから

# 第18期　中川村議会スタート

任期満了に伴う中川村議会議員一般選挙が8月9日に行われ、新人5名を含む新たな議会構成が決まりました。任期は、令和12年8月23日までとなっています。どうぞよろしくお願いします。





議長　松村利宏（まつむらとしひろ）（71）

このたび、第18期中川村議会議長の要職をお預かりすることとなりました。誠に身の引き締まる思いであり、その責任の重さを深く受け止めております。

18期議会は、20年ぶりの選挙戦により20代から70代の男性8名・女性2名、新人5名の議員で編成しています。

中川村は近い将来、大都市、国際空港、三河港まで短時間で連携できます。一方、村は急激な人口減少が進んでおり、財政の制約・人材不足により、村の行政サービスについて持続可能な行政運営が困難になります。

議会は、村の課題について、【何を残し、何を見直すか】について村民のために決定することが求められています。

このため

① 住民との懇談による意見聴取、議員同士の活発な議論による政策提言
② 議会基本条例達成度の検証などによる議員の資質向上
③ 若い世代の意見聴取・議会活動の説明による議員なり手不足解消

を行います。

村民の皆様の付託に答えることができるよう、行政の皆様との両輪で進んでまいりますので宜しくお願い致します。



副議長　大島（おおしま）　歩（あゆみ）（50）

蛇口をひねれば水が出る。例えばそんな「当たり前」の向こう側に、水源の森があり、インフラがあり、維持管理をしている職員さんがいて、予算が毎年つけられています。暮らしの中の「当たり前」がいつまでも続き、ここに住んでいてよかったな、と思える村にするには？

皆さんの声や力を生かして、共に考えていきたいです。18期議会もよろしくお願いいたします。

# 第18期　議員の抱負

第18期議会の新しい顔ぶれです。それぞれ議員に抱負をのべていただきます。(議席番号順)

## 1番　山岸（やまぎし）　裕亮（ゆうすけ）（27）



全くの新人で、知識も経験も足りていませんが、情熱と前例にとらわれない斬新な発想で、貢献をしていきたいと思います。

## 2番　中塚（なかつか）　礼次郎（れいじろう）（78）



初心に立ち返る思いの議会となりました。第６次総合計画遂行と大型事業への取り組み、村民の安全安心、くらし最優先で頑張ります。

## 3番　松澤（まつざわ）　文昭（ふみあき）（72）



リニア開通後の将来について議論をおこない、村の新しい価値観を生み出しビジョンをつくり、村の発展・活性化につなげます。

## 4番　米山（よねやま）　永子（えいこ）（49）



色んな立場のお声を先入観なく「率直に聞く」ことを大切にして、必要な対話と議論を重ねていきます。

## 5番　鈴木（すずき）　道郎（みちお）（61）



温故知新の心で中川村民を第一に、声を聴き対話を重ねて村づくりに取り組みます。みんなでこどもがまんなかの村へ、れっつごー！

## 6番　長尾（ながお）　和則（かずのり）（66）



守るべきものは守り、変えるべきものは変える。村民の声を聴き、具体策を提案し、実現へ。２期目も行動する議員として挑み続けます。

## 7番　湯澤（ゆざわ）　充尋（みつひろ）（31）



皆さんにやさしく寄り添う議会を目指します！人の集う場所づくり、村の魅力発信に努め、一緒に明るく楽しい中川村をつくっていきましょう！

## 8番　宮﨑（みやざき）　育王（いくお）（63）



中川村を良くする！
農を元気に！農で元気に！
農業・食に関わる事項を主に村民の皆様の期待に応えられるよう尽力して参ります。

**9月 定例会 9/11～10/5**

# 令和7年度（2025年度）中川村決算

一般会計　特別会計　公営企業会計

# 50億+19億円は何に使われたか？

決算審査で出された主な意見は6ページ～

## 一般会計 歳入 52億5239万円

前年比　+2.5%増（1億2948万円増）

地方交付税　44.0%
国・県支出金　11.0%
村債　10.4%
村税　9.3% 他


















※グラフや表は四捨五入により総額が一致しないことがあります。

## 実質収支は 2億1916万円の黒字

※実質収支は収支差し引き額から翌年度に繰り越す事業の財源1971万円を引いた額

実質赤字比率（財政赤字の深刻度）、
実質公債費比率（借金返済の負担度）、
将来負担比率（将来の財政負担の大きさ）
はいずれも国基準以下で「健全」の評価

### 特別会計

（単位：万円）

| | 一般会計繰入 | 歳入 | 歳出 | 基金積立 |
|---|---|---|---|---|
| 国民健康保険事業 | 2009 | 4億5708 | 4億5370 | 0 |
| 介護保険事業 | 8657 | 6億7842 | 6億5021 | 1000 |
| 後期高齢者医療 | 1536 | 7999 | 7996 | − |

### 公営企業会計

（単位：万円）

| | 補助金 | 収入 | 支出 | 借入金残高 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 水道事業（収益的） | 1202 | 1億4877 | 1億3373 | 3億8805 | ※資本的収入額が支出額に不足する分は損益勘定留保資金等で補填している。<br>※収入は補助金を含む |
| （資本的） | 879 | 1億5908 | 1億8595 | | |
| 下水道事業（収益的） | 1億2200 | 2億7000 | 2億5905 | 7億5239 | |
| （資本的） | 7900 | 1億2168 | 2億2544 | | |

# 令和8年9月定例会



不安定な経済情勢の中、村民生活を守る取組が各分野で行われ、大型事業の推進状況も確認できた。総合計画に沿った事業展開と村民生活向上を期待する

中塚礼次郎議員

**賛成討論**

「討論」とは？
採決前に賛否の理由を述べる公式の発言

子どもの居場所マップづくり、地元の人や多様な観光客に訪れてもらうための陣馬形山周辺整備、地区要望に応えた道路補修などの事業が進展。村の将来に資する投資と評価したい



大島歩議員

## ●令和8年度一般会計補正予算（第3号）

可決

一般会計補正
**＋2億8800万円**
**総額50億7800万円**

**＜主な歳入＞**

普通交付税…… 6309万円
物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金… 2631万円
前年度繰越金……1億3849万円

**＜主な歳出＞** pick up!



**プレミアム付き商品券**
**2095万円**
4000円のプレミアムがつきます！（国の物価対応重点支援地方創生臨時交付金が財源）



**農業経営継続緊急支援**
**500万円**
中東情勢の影響による経営悪化を緩和するため、融資を受けた農家に、利息・保証料相当額を支援



**小和田地区基盤整備事業**
**坊ヶ沢川函渠工事**
**▲5000万円**
工法の変更等で減額となる



**橋りょう修繕工事**
**調査設計**
**700万円**
経年劣化した日向沢2号橋修繕工事の設計



**ふれあい体験館**
**陶芸作業室改修工事**
**1650万円**
貸しスペース活用するための冷暖房導入等



**渡場イチョウ並木**
**駐車場整備工事**
**60万円**
イチョウ並木に安心して来てもらうため整備



**公共施設等整備**
**基金へ積立て**
**1億469万円**

## ●9月定例会　その他の主な議案 pick up!

可決 **中川村お試し住宅条例の一部を改正する条例の制定について**

お試し住宅の利用対象を、二地域居住を検討する方まで拡げるとともに、使用期間や利用料について見直し

可決 **令和8年度中川文化センター空調熱源交換工事請負契約の締結について**

エアコンの熱源が経年劣化で故障したため、新しく交換

可決 **中川村教育長の任命について**
**（再任）　片桐俊男　氏**

# 9月定例会　請願・陳情関係

## 陳情第６号

**採択**

### 消費税率一律５％以下への引き下げと消費税インボイス制度の廃止を求める陳情書

上伊那民主商工会　会長　鈴木正巳

【陳情の趣旨】

飲食料品を2年間のみ減税する案では物価引き下げ効果は限定的。一律５％に減税し単一税率にすれば事務負担が軽減される。値引きの強要や取引排除など小規模事業者やフリーランスを苦しめているインボイス制度も不要。財源は応能負担、生活費非課税という民主的な税制の在り方を含めて議論すべき。消費税率を一律５％へ引き下げ、消費税インボイス制度を廃止することを求める意見書を政府に送付することを求める。

**総務経済委員会**　賛成２、反対３で不採択　→　**本会議**　賛成５、反対４で採択

**本会議での討論**

| ✕ 反対 | ✕ 反対 | ✕ 反対 | ○ 賛成 | ○ 賛成 |
|---|---|---|---|---|
| 消費税減税に伴う代替の財源が問題。消費税には地方消費税も含まれており、地方自治体にとっても重要な財源。中川村の財政への影響も考えられる。<br>山岸議員 | 消費税収は年金、医療、介護、子ども・子育て支援などの社会保障の重要な財源。一律５％は物価高で困っている層に重点的に届く施策とは限らない。<br>長尾議員 | 5%以下では財源の確約性が持てない。また「5%以下の税率」と「インボイス制度」については別々に論ずべきでセットにして意見書を出すことに反対。<br>宮﨑議員 | あらゆる物価が高騰しており食料品だけ減税では効果は限定的、かつ飲食店や農家から不安や批判の声が多数あがっている。<br>中塚議員 | 中小企業庁調査によると多くの中小企業が「消費税を十分に価格転嫁できていない」とし、農業は消費税負担が重い業種としている。輸出企業への巨額還付など不公平感を生む構造的課題も抱える。見直しは必須。<br>大島議員 |

## 陳情第７号

**採択**

### ホルムズ海峡封鎖等の影響による中小業者の緊急事態の打開を求める陳情書

上伊那民主商工会　会長　鈴木正巳

【陳情の趣旨】

ホルムズ海峡封鎖等の影響により、極端な仕入れ値の上昇、必要な原料・資材の入手困難、売上減少など経済に影響が急速に広がり、深刻な影響を及ぼしている。政府に対し、次の内容の意見書を送付することを求める。

コロナ禍同等の「持続化給付金」「家賃支援給付金」「雇用調整助成金」拡充などの給付制度を設けること。イラン情勢の回復、戦争の早期終結に向けて、努力を惜しまないこと。自治体独自の支援策を後押しする財政措置を行うこと。

**総務経済委員会**　賛成2、反対2、趣旨採択1で不採択　→　**本会議**　賛成５、反対４で採択

**本会議での討論**

| ✕ 反対 | ✕ 反対 | ○ 賛成 | ○ 賛成 | ○ 賛成 |
|---|---|---|---|---|
| コロナ禍同等の支援という表現があるが、今回は原油や資材価格高騰によるコスト上昇が主な要因で質が違う。実態を十分把握してから状況に即した対策を講じるべき。<br>山岸議員 | 陳情では村・上伊那地域の具体的被害や影響の実態が示されていない。既存の支援策の不十分な部分、求める給付制度や「外交努力」の内容を明確にした意見書を。<br>長尾議員 | コスト上昇は中川村の事業者にとって大きな負担。働く人や家族の暮らしにもつながる大変な問題。事業継続、雇用と暮らしを守るために支援は必要。<br>鈴木議員 | 地元の建築業、塗装業、農業等で、燃油や資材価格は依然高止まり。村の運転資金等の利用はR6年度の1件950万→R7年度8件7700万円に増加。セーフティーネット保証制度5号認定も0件→11件で経営状況の厳しさがある。給付型支援が必要。<br>大島議員 | 円安・物価高の上に中東情勢の悪化によるコスト上昇の一方、中小事業者は販売価格に転嫁できていない。即効的な支援、自治体の独自支援を後押しする財政措置が必要。<br>湯澤議員 |

# 9月定例会　請願・陳情関係

## 陳情第８号

**採択**

### 上下水道事業の老朽化対策・耐震化と経営基盤強化に向けた支援を求める意見書の提出について

長野県水道協議会長　長野市長　荻原健司　他

【陳情の趣旨】

人口減少に伴う料金収入減少や物価高騰により上下水道事業の経営環境は厳しさを増している。老朽化対策･耐震化､技術職員の確保のため､国の財政支援や広域化支援を求める。

厚生文教委員会　全員賛成で採択　→　本会議　全員賛成で採択

## 陳情第９号

**採択**

### 国会に「非核三原則の堅持を求める意見書」の提出を求める陳情書

原水爆禁止上伊那地区協議会　会長　野口俊邦
上伊那地区労働組合会議　議長　松澤史浩

【陳情の趣旨】

核兵器使用の危険が高まる中､唯一の被爆国として｢非核三原則の堅持を求める意見書｣を国会に対し提出することを求める。

厚生文教委員会　全員賛成で採択　→　本会議　全員賛成で採択

## 陳情第１０号

**採択**

### 国が主食の価格と需給に責任をもち、国民への安定供給を支えるに十分な備蓄水準への早期回復と米価下落阻止を求める陳情

中川農民組合　組合長　下平和幸

【陳情の趣旨】

2023年産米不足から始まった価格高騰と備蓄米放出､輸入米の急増等で価格が乱高下している｡備蓄水準回復､米価下落阻止､所得補償強化､流通業者支援を国に求める。

総務経済委員会　全員賛成で採択　→　本会議　全員賛成で採択

**陳情への賛否の状況**　○：賛成　×：反対　※議長は裁決に加わりません

| | 委員会の審査結果 | 本会議の議決結果 | 山岸 | 中塚 | 松澤 | 米山 | 鈴木 | 長尾 | 湯澤 | 宮﨑 | 大島 | 松村 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 陳情第6号 | 不採択 | 採択 | × | ○ | × | ○ | ○ | × | ○ | × | ○ | — |
| 陳情第7号 | 不採択 | 採択 | × | ○ | × | ○ | ○ | × | ○ | × | ○ | — |
| 陳情第8号 | 採択 | 採択 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — |
| 陳情第9号 | 採択 | 採択 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — |
| 陳情第10号 | 採択 | 採択 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — |

# 令和７年度　一般会計歳入歳出決算を認定

９月16・17・28・29日の４日間にわたり、議員全員で構成される決算特別委員会において役場関係課長・係長に説明を求め、慎重に審査を行いました。

以下に審査の概要を報告します。なお、審査の議事録全文は議会ホームページに掲載していますので、詳細はそちらをご覧ください。

（下欄のQRコードからも閲覧できます）

## 【総務課】

### （総務係）

**問 ７年度の職員採用は５名、退職者は７名となっているが、役場の業務にあたる総人数は、８年度もその体制を維持できる形となっているか。**

答 採用数イコール退職数という数字が望ましいが、急遽３月になって退職を申し出た方がいたため、採用には至らずマイナスになっている状況である。

### （財政係）

**問 特定目的基金費の森林環境譲与税基金について、この目的と、なぜ７年度は2000円だけなのか。**

答 森林環境譲与税が交付された当初は一旦基金に積み立てをして必要な事業に充てようとした。近年は基金に積み立てずに、当年度計画をされている事業に直接充当している。７年度は2000円だけだが、その基金の利子運用収入のみになっている。

### （危機管理係）

**問 地区防災力向上支援事業補助金について、災害時に使用する簡易ベッド、トイレ、テントを７年度は中田島などの地区が要望されているが、この他の地区は要望してないのか。**

答 この補助金は令和６年度から始まったものであり、６年度については５地区から申請があり支給をしている。毎年の総代会でもこういった補助金があることは周知している。






## 【地域政策課】

### （むらづくり係）

**問 チョイソコなかがわの関係で、特定の時間に利用者が集中していることと、土曜日の運行について要望が高かったことが新聞報道されたが、その点について今後の方向づけは考えているか。**

答 休日にチョイソコを運行するとなると1台では厳しい。今後、公共交通会議の中で村としての方向を出していきたい。混雑する時間帯は今でも課題というところはある。混雑の回避、またあまりにも混雑するようであれば増車というところについても研究を進めていきたいと考えている。

### （土地政策係）

**問 大阪や名古屋で移住相談会を開いているが、この相談者がお試し住宅の利用や村に来た場合は、そのことを把握しているか。**

答 上伊那広域連合で実施したイベントになる。イベントの際お話をした1世帯がお試し住宅の利用に繋がった事例もある。こういったところで中川村に興味を持っていただいて、次に繋がるきっかけになっている感想を持っている。



移住相談会

### （ＤＸ推進係）

**問 AIチャットボットはいろいろな課題があると思っているが、令和7年度の利用状況はどうであったか。**



①QRコードから入る場合はこちらから　決算特別委員会報告

答AIチャットボットは３年間の試行期間中である。令和７年度までの利用実績内容についてはゴミの質問が多い。近年一般的なAIの精度向上があるため、その辺も含めてAIチャットボットの効果について今年度中に検討する。

## 【保健福祉課】

### （社会福祉係）

**問福祉タクシー券の交付事業203万円、令和6年度実績は181万円であり増えている。7年度の利用率、交付者数を教えていただきたい。**

答交付者数は166人、交付枚数は6028枚で使用枚数は2899枚。利用率48%である。

### （子育て支援係）

**問ファミリーサポート事業について、７年度から中学生が利用できるように拡充をしたが、中学生の利用はどのぐらいあったか。**

答中学生の利用は送迎に限られる。村外の学習塾や村内の居場所への移動で利用がある。数人の中学生が利用している状況である。

**要望**　ファミサポでの送迎は大変いい事業だと思うので、ぜひ周知を図っていただきたい。

### （保育所）

**問未満児の受入れ人数が多くなっているが、職員不足によって受け入れ体制に影響が出るようなことはないか。**

答７年度に関しては未満児が過去最高程度の園児数でほぼ定員いっぱいとなり、受け入れが難しいと感じたことはあったものの、希望された園児は全員入所いただけた。今後は定員に達することはないと予想しているため、受け入れは可能だと考えている。

片桐保育園 未満児棟









### （保健医療係）

**問妊娠出産包括支援事業について、産前産後ヘルパー９件、産前産後の配食1834食となっている。何れも６年度に比べて利用が減っている。理由は何か。**

答自分の生活圏に入ってくる手助けという形になるため、これをよしとしない方もいらっしゃる。７年度はそういう方が対象として多かったんだろうと思っている。

## 【産業振興課】

### （農政係）

**問西原農村広場のトイレ洋式化工事は農業施設管理事業として支出したのか。また、交流センター関係経費との関係はどうなっているか。**

答決算書の農業施設管理事業には、西原農村広場や農業観光交流センターなど３施設の経費を一括計上している。工事費227万円には、トイレ洋式化工事費も含まれている。

西原農村広場トイレ







### （耕地林務係）

**問木の駅事業で、望岳荘のボイラー用に搬入した木材の対価として支払う地域通貨「イーラ」は、説明資料の事業費に含まれているのか。**

答地域通貨の支払いは木の駅事業の会計で処理しており、説明資料の補助金には含まれていない。

（交流センター係）

**問農業観光等の受入れ事業は、継続して実施しているものか、それとも単発の事業か。**

答台湾インバウンドモニタリングツアーは令和７年度に初めて実施したものであり、８年度以降の実施は決まっていない。一方、東京農業大学のフィールド研修は継続して実施しており、学生らが村内農家で収穫や栽培を体験している。

（商工観光係）

**問観光クーポン事業を毎年９月から10月に実施している理由は何か。**

答西原のぶどう園の営業期間に合わせ、来訪者に村内の飲食店や小売店も利用してもらうために始めた事業である。

要望　渡場のイチョウ並木の見頃も含め、事業期間の延長を検討されたい。




## 【建設環境課】

（建設係）

**問舗装修繕等の経費が前年度の488万から1175万円に大幅に増加した理由は何か。**

答地区から舗装修繕の要望が多く寄せられたことに加え、村として舗装状態の悪い箇所を重点的に改善したためである。

**問河川および産業廃棄物処分場等の水質検査結果は公表しているのか。**

答現在は公表しておらず、担当係で結果を確認している。危険な物質の検出はないが、結果の公表は必要と考える。

## 【教育委員会】

（総務学校係）

**問修学旅行等の安全管理について、学校と契約先との間でどのように対応しているか。**

答学校が判断して相手先と契約しており、教育委員会では詳細を把握していない。

**問事故発生時の責任や対応を明確にするため、教育委員会も旅行会社との調整や安全管理に関与すべきではないか。**

答指摘のとおりであり、今後は教育委員会としても適切に確認していく。

（社会教育係）

**問社会体育館の備品は、どのような基準で購入・更新しているのか。**

答利用者からの不具合や要望を受け、必要性を精査して購入している。

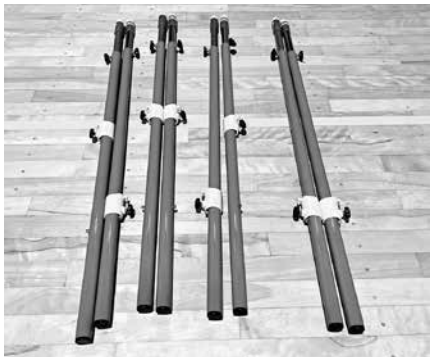
**問備品の要望を伝える機会がないと感じている団体もある。利用者の意見を広く把握する仕組みを検討できないか。**

答現在、教育委員会から各団体に不具合等を確認する場は設けていない。意見を把握する仕組みを今後検討する。

社会体育館備品



ＬＥＤ照明



バドミントン支柱

## 令和７年度　国民健康保険事業、介護保険事業、後期高齢者医療事業の三特別会計歳入歳出決算を認定

９月 11 日役場関係課長・係長に説明を求め慎重に審査を行いました。

## 令和７年度　水道事業決算、下水道事業決算を認定

９月 28 日役場関係課長・係長に説明を求め慎重に審査を行いました。

# 総務経済委員会

9月29日

## 横前地区：道路改良工事（横前グラウンド近く）　R7 4171 万円

村道「七久保停車場大鹿線」
Ｒ２年度～事業開始。Ｒ７年度はグリーンベルト設置工事を行い事業完了。頑丈な「ＶＳ側溝」を設置したことで車が通れる幅が広くなり、大型車もすれ違いができるようになった。





## 小和田地区：基盤整備事業（牧ヶ原トンネル北）　全体 4億8733 万円





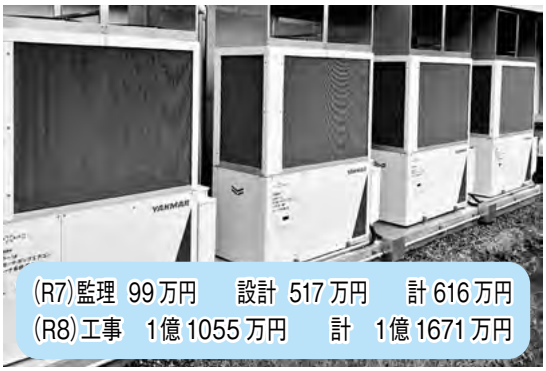
リニア残土を利用して嵩上げし、将来的なスマート農業も見据えた水田地帯に整備する。新しい堤防も作り、長年悩まされた小和田地区の治水事業を行う。Ｒ７年度は、家屋の移転や盛土造成工事などが行われた。埋め立て工事は令和１２年まで続く計画。

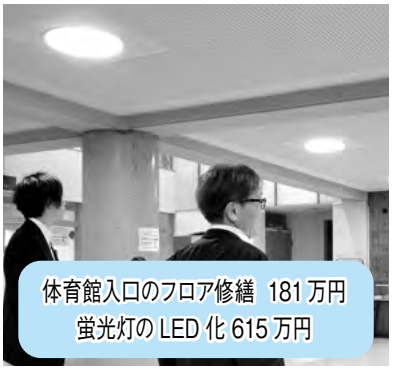
# 厚生文教委員会

9月29日

## 社会体育館エアコン設置工事 他

ガスヒートポンプ式のエアコン設置が完了し、柔道場やアリーナで空調使用が可能に。発電機を搭載し電源が自立しているため、災害による停電時にも使用できる。そのほか、体育館入口のフロア修繕や、蛍光灯のＬＥＤ化を実施。




## 片桐保育園遊戯室エアコン設置工事 他













保育園遊戯室にエアコンを新設。そのほかトイレ屋根の改修工事、日射により熱くなりやすかったプールサイドのゴムチップの舗装工事、フェンス改修工事（継続中）などを実施。



## 人口減少歯止め対策について

松澤文昭

# 問 年少人口をどのように増やすか

## 答 議会の皆さんと議論を進めたい

村長

**問**　人口減少歯止め対策に正面から向き合い、積極的に対策を行い年少人口の増加につなげるべきである。

**村長**　人口減少に歯止めをかけるべき世代は恐らく年少人口だが非常に難しい。手厚い政策の中で子育て環境を整えるとともに関係人口から移住定住に結びつけていきたい。この政策は議会の皆さんを含め議論を進めていきたい。

**問**　伊那谷はリニア中央新幹線・三遠南信自動車道が開通すれば、人と物の流れが大きく変わり、特にリニア中央新幹線については当面名古屋までの開通が議論されている。最終的には大阪まで延伸する。伊那谷は東京～大阪の中心に位置し、また中川村は伊那谷の中心に位置している。

この地理的な要素をイメージしながら取り組みを行う必要がある。中川村の将来について的確に情勢判断を行い、逆算して現状を考えれば今やるべきことが見えてくると考えている。大阪までの延伸は遠い将来のように感じられるが、今から東京～大阪間の開通をイメージして中川村の将来ビジョンを計画すれば、中川村の発展につながると考えるが。

**村長**　全国的に人口減少が進んでいる中、リニア中央新幹線が開通すれば、中川村も通勤圏内にもなるので二地域居住も可能になる。関係人口をできるだけ増やしながら、若い人たちが中川村に移住し易い環境づくりを進めていくが、具体的なアイデアが出てこないのが現状だ。



リニアの開通で人と物の流れを中川村へ呼び込む政策を



## 人口減少対策について

山岸裕亮

# 問 若者への更なる就労支援を

## 答 地域事業者と連携する

産業振興課長

**問**　人口減少が進むなか、若者が村に住み続け、さらに進学などで村外へ出たとしても将来的に戻って来てもらうためには、希望する仕事に就き、安定して働ける環境が重要だ。一方、村内事業者では人材不足や後継者不足が課題となっている。若者の雇用・就労環境について村の現状と課題、地元企業との連携や就労支援について伺いたい。

**産業振興課長**　村内には多様な事業所があるものの、働く場や職種の選択肢が限られており、若者が希望する仕事と地域の求人とのミスマッチ解消が課題である。商工会等と連携し、地元企業の情報発信や地域の仕事を知る機会を増やすとともに、若者の地元就職やUターンに繋げていく必要がある。

**問**　若者の定住促進と地域産業の活性化を図るためには、安定した雇用の確保に加え、起業・創業や事業承継など、多様な働き方の選択肢を整えることが重要だ。若者が地域で安心して働き、生活基盤を築いていくために、今後の具体的な施策をどう進めるか。

**村長**　農業や地域事業者の人手不足を補い、複数の仕事を組み合わせた働き方を可能とする「特定地域づくり事業協働組合」の設立に向けて取り組んでいる。年度内の設立を見込んでおり、村としても財政的支援を含め積極的に関わっていく考えだ。また、商工振興事業補助金による起業・創業支援や事業承継についても、商工会や関係機関との連携をさらに深めていきたい。





①QRコードから入る場合はこちらから　一般質問 YouTube　一般質問 議事録



## 学校給食費の実質無償化について　中塚礼次郎

### 問 無償は給食の質低下にならないか

### 答 基本方針である質の高い給食を維持　村長

**問**　長年に渡り取り組んできた給食費の無償化が本年４月から全国の小学校で実現。無償化は子育て中の保護者にとって切実な願いと思い取り組んできたが、子育て中の保護者の中には無償化を問題視する人達がいることを知り力を落とした。無償化により給食の内容や質が落とされる等の理由である。中川には給食を民間任せでなく自校給食センターによる安全安心を重視。食育や運営面でも上下伊那地域で一番と思っている。学校給食への基本的施策、考えや思いは。

**村長**　中川村ではこれからも質の高い給食を維持して提供するということを基本方針に置いていきたいと思っており、現状どおり給食の質を落とさないように教育委員会と協力していく。質の低下への懸念には及ばない。

**教育長**　給食の質は落とさない。今まで保護者のご理解、協力を頂き教育委員会と保護者の双方で負担してきた。地元生産者の皆様、心を込めた手作り給食にこだわり奮闘している学校給食センター調理スタッフの思いも重なり、中川村ならではの特色ある学校給食、食育を築いてきた。特に子どもたち、保護者の皆様、地域の皆様にも高く評価をして頂いていると認識している。本年度も、村民向けに学校給食試食会を実施。村民の皆様に中川村の学校給食の良さを発信し、理解をいただき、質が落ちたと言われないよう取り組みを進めたい。



８月に行われた一般向けの給食試食会のメニュー。スープカレー。



## 地区組織の今後の在り方について　長尾和則

### 問 検討会を設置するべきだ

### 答 極力早く検討会を設置する　村長

**◆持続可能な地区を目指し検討会の設置を**

**問**　人口減少と高齢化により、地区役員の選出や共同作業の担い手確保が難しくなっている。総代会での検討状況を問うとともに、女性、若者、子育て世代、移住者など幅広い住民が参加する「地区の在り方検討会」の設置を求める。

**村長**　ヒアリングや総代会などで３回協議し、役員や作業の負担、担い手不足などを把握した。広く関係者の協力を得て検討会を設置し、研究・検討を重ねたい。できるだけ早く議論を始め、2030年頃には一定の方向を示したい。

**◆若い世代の定住を支える小規模分譲地を**

**問**　希望する宅地が見つからず、若い世代が村外へ転出することを防ぐため、住宅新築や宅地取得の意向調査を求める。需要を踏まえ、土地開発公社を活用して３～５区画程度の分譲地を造成し、販売状況を見ながら村内各地で段階的に進めることを提案する。

**地域政策課長**　住宅取得の意向は正確に把握しておらず、調査の必要性を感じているため検討する。公社で現在販売中の分譲地は本年９月中に完売予定である。小規模分譲地は集落維持や村の均衡ある発展に重要な視点であり、需要やインフラ整備、採算性を検証し、村、民間事業者、公社で総合的に取り組んでいきたい。





## 中川村営農センターの役割の構築

宮崎育王

# 問 農業振興をどう進める

## 答 必要な情報発信を進める

村長

**問**　村の振興品目や特色ある特産を定め目標として農業者への指針とすべきでは？

**村長**　県やＪＡ等の取り組みを村として発信するとともに連携を図り実効性ある振興を模索したい。

**問**　村内の優良事例など多様な経営モデル形態を農業者等へ発信して農業経営の参考と出来るよう取り組みができるようにすべきでは?

**村長**　事例者の同意が得られれば農業者への発信も必要と考える。

**問**　農業での新規取組、増反、定年帰農、経営継承、農地貸借、農地相続等の相談窓口を一元化し各機関との共有化して迅速な対応を！

**村長**　振興課の役割として機能するよう調整をしていく。

**問**　村の広報誌へ営農ページの新設をして発信された農業情報が後で見返し可能なように常設してはどうか？

**村長**　村民への効果的な情報発信のあり方を含め検討をしていく。

**問**　「農業者の為の教本」を作成して相談の問合先をわかり易くしたら？

**村長**　各機関より個別の情報冊子はあるのでアクセス案内の工夫、仕組みを今後検討していきたい。

**◆鳥獣対策と里山整備**

**問**　村と薪ストーブユーザーとの連携で里山整備の進度を早められないか？

**産業振興課長**　有効と考えるが課題も多いので段階的かつ慎重に進めたい。

**◆大規模災害の水と食料確保**

**問**　災害時に水源と食料の災害協定を農家等と結べないか？

**建設水道課長**　水源は災害時に協力頂ける事になっている。

**総務課長**　食料の農家ストックからの協力は難しいと考えている。



村の特産化中レモン



## 子どもと地域を守る村づくり

鈴木道郎

# 問 学校・防災・道路をどう進める

## 答 村民と行政が共に取り組む

村長

**問**　新しい義務教育学校を、子どもを真ん中に村民みんなでつくる「オール中川」の取組として進める考えは。

**村長**　行政だけで進めるものではない。村民みんなで考え、つくり上げる議論の過程が大切。地域全体で子どもを育てていきたい。

**教育長**　義務教育学校準備委員会と四つの検討部会を設ける案を示す。地域が学校運営に参画する学校運営協議会の設置に向けて検討する。

**◆防災**

**問**　夜間や通信障害にも対応できる防災体制か。避難所生活を体験する防災キャンプを行う考えは。

**総務課長**　職員の招集や情報集約の体制を定め、毎年、通信テストと参集・伝達訓練を行っている。多世代が体験しながら学ぶことは有効。来年度、中学校の宿泊体験学習を防災キャンプに変更する方向で検討している。

**◆生活道路**

**問**　支障木や落石など道路の危険箇所をどう把握し、事故前に対処するか。

**建設環境課長**　住民や地区からの連絡、職員の点検などの情報を課で一元管理し、通行への影響が大きい箇所を優先する。支障となりそうな樹木の伐採や、のり面保護工事も進める。

**要望**　学校づくりも防災も道路の安全も、住民と行政が一緒に考え、行動する取組につなげるよう求める。






①QRコードから入る場合はこちらから　一般質問 YouTube　一般質問 議事録



空き家対策の推進と、歴史文化を生かした観光政策　米山永子

## 問 あきてらすと空き家バンクの連携を

## 答 住民の利便性向上を図る　地域政策課長

**問**　今後急増する空き家に対して迅速な対策が必要だが、職員不足により調査が追いつかない懸念がある。現在把握しているデータと調査体制の見直しについて伺う。

**建設環境課長**　対象物件134件中、意向調査では56件の回答があった。今後は立入調査や相談会を随時開催し、職員の配置も検討していく。

**問**　空き家調査窓口「あきてらす」と空き家バンクの連携が不十分では。また美里地区の成功例など民間ノウハウの全村展開についての見解は。

**地域政策課長**　美里地区では平成29年から住民主体で地域活性化委員会を組織し、空き家対策をはじめ地域力維持のための取り組みをされている。総代会では事例発表の場を設けた。このような取組が波及することを望む。

**◆歴史文化を生かした観光政策の強化を**

**問**　急激な人口減少社会において集約が進む一方で、伝統行事や集落機能の維持は極めて困難になる。再開発と文化保全の両輪を回してメリハリのある村づくりを進める観点から、体験観光を切り口にした関係人口の創出を進めるべき。望岳荘、チャオの「体験観光のハブ（拠点）」としての強化を。

**産業振興課長**　現在策定中の立地適正化計画や都市計画マスタープランでも、村の財産を守る視点に立って議論を進めている。大鹿村との地域生活圏リーディング事業での採択を受け、歴史文化的つながりを生かした観光等の活性化計画を進める。望岳荘やチャオは観光動線の重要拠点としてしっかり活用する。






災害への防備　湯澤充尋

## 問 実態に即した防災体制の構築を

## 答 重層的な仕組みづくりを進める　総務課長

**問**　要支援者の避難計画策定や避難所の整備、体制構築の目途は。

**総務課長**　支え合いマップの情報が古くなっていることは承知している。混乱や現場任せを防ぐため関係機関との連携が急務だ。様式統一や連携ルールを整え個別避難計画の策定を進める。福祉避難所は介護事業所等と調整を進め、来年度中の協定締結を目指す。

**◆消防団員について**

**問**　団員減少が進む中、役割明確化と安全確保対策はどうなる？

**総務課長**　消防団員の安全確保が最優先。高度な救助等は警察や消防等専門組織が対応し、消防団は発災初期の点検や避難誘導等に主力を置く役割分担の明確化を図る。

**◆持続可能な施設・イベント運営のため「観光×教育」で関係人口を増やしては**

**問**　アンフォルメル美術館のアトリエ貸出し等、観光教育の観点での活用はできるか。

**教育長**　今年度から創作活動への使用に限ってアトリエ棟の貸し出しを開始した。本施設は文化的素養を高めるインフラであり魅力向上への提案として参考にしたい。

**問**　村内の文化財や眺望スポットをつなぐ散策路（フットパス）の整備をできないか。

**産業振興課長**　既存道路を活用し「学びの道」として整備することは大変意義がある。課題を考慮し、まずはモデルコースの検証から研究を進めたい。

**問**　バレー祭を村外からも参加できるイベントへ発展させては。

**教育長**　村民の健康増進と交流目的に開催してきた歴史がある。まずは村民中心の企画を基本とし、持続可能なあり方を協議していく。



# 一般質問



**村議選投票率87%→69%へ低下**　**大島　歩**

## 問 投票率を上げる方策を提案する

**答 非常事態と捉え、出来ることから早急に取組む** 選挙管理委員長

**問**　20年ぶりに選挙となった村議会議員選挙。投票率は68.89%で、前回（平成18年）の87.06%から大きく低下。直近の参院選、衆院選より低かった。周辺自治体平均より高いとはいえ、改善への取組が必要。「選挙・投票情報へのアクセス改善や周知」「村議選選挙ポスターを作成」「チャオへの期日前投票所試験設置」「デザインを工夫した投票記念カードの配布と選挙割での地域活性」「若年層や子連れでも行きやすい投票環境・よびかけ」などを提案する。

**選挙管理委員長**　少なからぬショックとともに大変残念な数字。提案については早急に出来ることは行い、投票記念カード導入も検討したい。チャオへの期日前投票所設置は今までも要望があったが、費用やマンパワー不足等の課題があり、むずかしい。委員会で話し合いたい。その他小中学校への選挙出前授業、利用率の高い期日前投票のさらなる推進等を行っていきたい。

### ◆小学校給食費「無償化」―不登校児童へ昼食費相当の支援を

**問**　4月から国による小学校給食費の負担軽減策がスタート。文科省は学校設置者の判断で、不登校児童など給食の「非喫食者」に対しても昼食費相当の支援が可能としている。教育委員会の考えは。

**教育長**　文科省の要領等を確認し、整理ができたので、これを踏まえて現在検討中である。

**＜その他の質問＞**
ＧＩＧＡスクール構想で導入された端末の払下げは可能か

**Ｒ８．８村議選　年齢層別投票率**

| | | | |
|---|---|---|---|
| 10代 | 54.65% | 50-54歳 | 72.64% |
| 20-24歳 | 44.87% | 55-59歳 | 75.91% |
| 25-29歳 | 53.39% | 60-64歳 | 81.54% |
| 30-34歳 | 49.09% | 65-69歳 | 79.65% |
| 35-39歳 | 64.29% | 70-74歳 | 80.98% |
| 40-44歳 | 62.45% | 75-79歳 | 81.16% |
| 45-49歳 | 74.06% | 80歳以上 | 55.50% |

# 議会チョコっと訪問 野外教育/活動 編

## 里山どうぶつ探偵団

**2026年９月17日 訪問**
**宮下 史恵 さん（南田島在住）議員訪問人数：３名**

**▼こんな活動**

野生動物の生活の痕跡を探す「アニマルトラッキング」の体験活動をしている。桑原のキャンパーズビレッジ・桑原キャンプ場・奏の森などで、村内外の子どもと大人に向けて、オリジナルプログラムや公民館講座として年に数回開催。

**▼始めたきっかけ**

愛知で育ち、アウトドアには全く縁が無かったが、結婚を機に中川に来てキャンプ場で働くようになった。ある時、場内にかけた巣箱に初めてムササビの姿を見た。今まで図鑑やテレビの中だけの、言わば架空の存在に感じていた生き物が、目の前に現れた瞬間に衝撃が走った。その時の感動とワクワクが、今の原動力になっている。

**▼「生き様」を想うアニマルトラッキング**

ツアーの中で実際に野生動物に会うことは難しいが、野生動物が残す食べ跡や足跡などから、その動物たちの暮らしを想像できたり、思ったより身近なところにいると分かる。

例えば鳥の巣だと、外装・内装まで丁寧に作り込む種もいれば、ざっくり枝を積むだけの種もいて、だけどそれは決して人間感覚で丁寧だの雑だの、評価はできない。

その種の長く尊い歴史の中で築き上げてきた最良の子孫の残し方であり、それぞれのスタイル、生き様である。

ともに今を生きているたくさんの命を目の当たりにすると、自然の中で逞しく謙虚に生きる姿に、心震えたり励まされたりすると同時に、その生き様を守るために人はどう在るべきか、自然への振る舞い方も考えさせられる。

今の時代だからこそ、たった一つの地球を分け合って生きている目に見えないたくさんの命や、それぞれが築き上げてきた歴史とそれぞれにとって幸せな未来をイメージすることを大切にしたい。

**▼ひとこと**

知らなければ全然気づかなかったことも、知れば同じ100mを歩くのでも楽しみ方、見え方が変わってくる。この活動がそういう自然の楽しみ方の入り口、きっかけになれれば嬉しい。そして村の子どもたちの“ふるさとの記憶”の中には、いつまでもたくさんの野生動物たちが共に在ることを願う。



# 議会チョコっと訪問 野外教育/活動 編

## SUP（サップ） ガイド

SUPとは？ Stand Up Paddleboard（スタンドアップパドルボード）の略。ボードの上に立って水上をパドルを使って進む。
米山達也さん「水の上を歩いているような感覚が楽しめます！」

**2026年９月26日 訪問**
**米山 達也 さん（中組在住） 議員訪問人数：４名**

**▼地元のこどもたちが川で遊ぶこと**

長年ラフティングガイドとして活動し、SUPガイド歴も８年になる。これまで天竜峡で観光客向けのSUPツアーを行ってきたが、地元の子どもたちが川で遊ぶ機会の少なさを感じ、「川で遊べる大人」が場をつくれば、子どもたちがもっと川に近づけると考えた。



**▼中川村でのSUP開催**

天竜川の鵜の淵（うのふち）は、静水と微小な流れがありSUP体験に適した場所。国交省天竜川上流河川事務所に許可申請を行い、協力を得て開催に至った。期間中は天候にも恵まれ、８日間で約300人が参加した。

**▼参加者の広がり**

今回は観光客向けではなく、伊那谷の子どもを中心に参加してもらうことを目的とし、チラシ配布も最小限にして、SNSを通じて発信。飯田～辰野までの子どもたちが来て、「天竜川で遊べるとは思わなかった」という声が多く寄せられた。地元に新たな遊び場が生まれたことへの喜びも大きかった。

**▼今後の展望**

SUPは川と人をつなぐための手段であり、来年も夏休み期間に開催したい。また、中川村産の木材を使った水上アクティビティ用の道具づくりにも挑戦している。地域の子どもが外で遊ぶ文化を広げるため、継続的な活動をしていきたい。

## ブッポウソウの里の会

**2026年10月７日 訪問**
**ブッポウソウの里の会 副会長 初崎 津釣（つづる） さん（桑原在住）**
**議員訪問人数： ２名**

**▼現況**

ブッポウソウの里の会は、野鳥ブッポウソウの保護活動、さらに自然環境保全活動への参加を広く呼びかけるため2014年に発足。中川村のほか、近隣市町村の有志ら約22名のメンバーで構成。今年で保護活動も13年目に入るが、その始まりは1990年の四徳大橋での初観測にさかのぼる。加えて探鳥会や写真展示会なども開催し、ブッポウソウの魅力を広く発信している。





ブッポウソウは、ブッポウソウ目ブッポウソウ科の夏鳥であり、その鮮やかな青緑色の美しさから、「森の宝石」とも呼ばれる。春先から夏にかけて日本へ飛来し、営巣や産卵を行う。県天然記念物であり、絶滅危惧種にも指定されている。

現在村内には、毎年約60カ所に巣箱を設置しており、今年は23カ所で営巣を確認。さらに、そのうちの22カ所で繁殖を確認し、いずれも過去最高数となった。巣箱作りには、西小学校の生徒らも参加している。

なお、ブッポウソウの里の会は、株式会社医学生物学研究所、長野県とともに「生物多様性保全パートナーシップ協定」を締結している。また、ＪＡ上伊那中川支所の協力を得て、保護活動に取り組んでいる。

**▼今後の展望**

村制70周年に併せ、ブッポウソウを村鳥とする方針が示されるなど、今後に期待する声が広がっている。さらにその機運を高め、活動を活発化させたい。



**12月５日～13日開催！**
**写真展「美しい村の野鳥たち」**
**中川文化センターにて**

議会チョコっと訪問

# 総代さんこんにちは

## 柳沢地区

訪問日　2026年９月27日(日)
議員訪問人数　２名

総　代　富永健司さん
副総代　富永雄一さん


柳沢会館にて　総代・副総代・伍長さんたちと

【地区の現状】
・地区加入戸数：32戸
・地区としてのまとまりが強く、行事も多い。住み慣れた環境や人のつながりがあるので、今後も住み続けたいと感じている人が多い。
・高齢化と人口減少が進み、役員の成り手が不足してきている。５年後には役員をできる世帯が15世帯と全戸数の半分を切る見込みとなっており、負担の偏りが心配される。また、役職の兼務による負担増や組の付き合いも削れない難しさがある。
・兼業農家が多く、働く場所を求めて若い世代が流出しやすい構造がある。

【村への要望等】
・地区の担い手問題を地区任せにせず、行政による広域的な地区再編などの方向性を早急に示してほしい。
・給食費無償化などの現状の子育て支援策だけでは、若い世代に選んでもらうのに限界があると感じる。若者や子育て世代の定住のため、企業・工業団地の誘致など、安定した雇用の場を生む取り組みが必要だと思う。
・柳沢で子育てをするとなると、毎日の通学や部活動の送迎負担がとても大きい。一時的な補助金や給付金よりも、送迎負担を減らすスクールバスの拡充や路線バスの便数増など、日常生活の利便性を高める支援こそが定住・Uターンの鍵ではないかと感じる。

## 地域を超えて学び合う議員研修



大鹿村
松川町
飯島町
中川村

### 10/8 中部伊那 町村議会議員研修会 in 飯島町

**５つの要望テーマについて活発に意見交換**

県に要望する「道路整備促進」「放課後子ども教室推進事業等の三事業推進」「介護職員の人材確保」「福祉医療費にかかる窓口現物給付」「山林整備と野生鳥獣対策」の5テーマについて、全体会・分科会で意見交換しました。来年1月に県庁で要望活動を行う予定です。

### 10/16 伊南 市町村議会研修会 in 中川村

**小和田地区基盤整備と半の沢現況を視察**

リニア中央新幹線工事残土等を使って行われている２つの事業について視察。中川村建設環境課リニア対策室・飯田建設事務所・ＪＲ東海からそれぞれ説明をしていただき、参加者からは工法や農地利用等について多くの質問が出ました。

宮田村
駒ヶ根市
飯島町
中川村





辰野町・箕輪町
南箕輪村・伊那市
宮田村・駒ヶ根市
飯島町・中川村

### 10/23 上伊那広域連合 議会議員研修会 in 駒ケ根市

**地域経済学からひもとく「まちづくり」**

まちづくり支援を行う「らしく株式会社」の堀哲郎氏（駒ヶ根出身）から、税収などの統計と現地ヒアリングなどを通して「まちの経済を見える化する」取り組みについて学びました。その後駒ヶ根市街をグループごとに歩き、気づきについて意見交換しました。

# モニターのみなさんの声

7月に発行した145号に対するモニター様の声を抜粋して掲載します。全てのご意見等は「村ホームページ - 中川村議会 - 議会だよりなかがわ - 議会だよりモニター」に掲載しましたので是非ご覧ください。

## ❶ 145号の表紙について

- 一見どうやって描かれているのか全く分かりませんでした。ペンや筆で描いている訳ではなさそう…？と思ってよく見てみたら、下に“銅版画”の説明書きを見つけました。版画自体は知っていましたが、銅の版画は聞いたことも見たこともやったことも無かったので、「銅で版画って…いち個人でできるものなの？？」と、頭の中で色んな疑問が出てきました。
  議会だよりの表紙はとってもバリエーションに富んでいると言いますか、いつもそれぞれ全く違う表情をしていて、それが見ていて面白くて良いなと思います。
  今回の作品も、描かれているイラストもとても可愛らしく、版画により全体的に滲んでいる様子が柔らかい雰囲気をまとっていて、とても素敵だなと思いました。
- 味のあるいい絵です。
- 「あれ？どこかで見た顔？」と思わせてくれるような…優しい気持ちにさせてくれる作品だと思いました。
- 議会だより表紙画展をたまたま立ち寄ったチャオで見つけて拝見しました。原画でみるとさらに迫力がありました。

## ❷ 145号の紙面構成について

- 今回は私が見てきた中で過去イチ文字数が多かったようにお見受けしました。
  いつも図や写真で直感的にも情報が伝わるようにまとめていらっしゃる印象でしたので、今回ちょっとテイストがいつもと違ってそれが良いな、と思いました。
  今まで読みづらいと思ったことは一度もありませんが、毎回お馴染みのテンプレートに目が慣れてしまって、何となく情報がパッと目に付きにくくなった感じはしますので、今回の文字びっしりな記事は新鮮で、逆に「こんなに一体何が書いてあるんだろう？」と読みたくさせる紙面でした。
- 任期最後ということで文字が多く、ぱっと見で沢山の「想い」が表現された回の構成だとおもいました。

## ❸ 145号の記事の内容について

- 学校給食の費用に関しての記事を拝読して、個人的な意見で大変恐縮ですが、各家庭・各児童の負担が多少増えたとしても、できる限りメニューのクオリティ特に量は保って欲しいなと思いました。
  SNSでたまに見かける他の学校の給食が、清貧という度を超えていて、それがとても心苦しくてなりません。常識も判断力も未熟な子供たちは、出された給食を見て“一般的な一食の食事”を学んでいくことと思います。それはメニュー内容も然り、マナーも然りです。なりより、食べ盛り育ち盛りの子供達が、少ない量の給食を見て、“普通の一食の量”を誤認してそれに慣れて、無自覚のうちに栄養不足になってしまうことを、私は凄く怖く感じています。
  正直に言うと、議会だよりに掲載されていた給食の写真も、主菜が唐揚げ1つしかないのは、私の勝手な感覚ですが少ないと思いました。
  せっかく和食の美味しい国に生まれて、畑も田んぼも豊かな村で育っているのですから、食事の面で子供たちに苦労はさせたくないととても思います。
- 今回は冒頭から議員のみなさんの村政に関する考えをうかがうことができ、とてもよかったです。
- 議会だよりが配布された時には表紙画展が終了していました。もう少し長く展示してもよかったのではないでしょうか。
- 猫問題はとても身近な問題です。給餌する家の方がどうしたら可哀想な命を増やさないようにできるかを意識できる取り組みを進めてほしいです。（野生動物が多いためか？子猫が生まれてもすぐに見かけなくなることが多い気がします）
- 先日の村議会議員の告示から投票までの日数が極わずかでとても驚きました。
  県知事選挙は何日も前から情報が出ていて村議会議員ほど人数も多く無いのでじっくり選べましたが、村議会議員に関しては投票日までの短い日数の割に人数は10人越えで、「え？このたった数日間のうちに誰が良いか決めるの？？」と、とってもびっくりしました。
  本当は個人演説も見に行きたかったのですがタイミングが合わず見に行けず無念でした…。選挙ひとつにしても役場の方々の大変なご苦労とたくさんのお手間によって成り立っていることは重々承知しておりますが、何でこんなに短いスケジュールなのか不思議に思いました。

## ❹ 議会広報ならびに村民と議会のコミュニケーションについて

- 先日、偶然村議会議員の方とお会いする機会があって、その時に「いつもアンケートしっかり書いてくださってありがとうございます」と仰ってくださいました。
  いつも一方的にこちらから送り付けてるこの雑感が、一体どれぐらい読まれていてどのように受け取られているのか、というかアンケートってそもそも一体何をどのようにどれくらい書けば…？と思いながら手探りで書いているので、議員さんからかけていただいたお言葉を聞いて、今のテイストのまま書いて行けば問題ないってことかな、と少し安心しました。

## ❺ 議会・村に対するご意見・ご要望

- 教育に関するデジタル化の弊害については最近ニュース等でも取り上げられてきています。使うシーンを増やすことが教育にとってプラスになるのかを検証すべき時期に来ていると感じます。
- 4年任期でできたことできなかったこと、今後の中川村にどのようにかかわっていくか等各議員さんの熱い思いが伝わってきました。様々な問題点・改善点をひとつひとつ取り組んでいく先導者としてやってこられた議員の皆様に感謝です。今後も引き続きよろしくお願いします。

## ❻ その他（お気づき・ご意見）

- チャオ横の観光案内所？で選挙の投票ができるようになったら投票率があがるのでは。

発行　中川村議会　長野県中川村大草四〇四五―一
編集　議会広報委員会　発行責任者　松村利宏
TEL 0265(88)3058

# なかがわの匠

ストーブ職人　イエルカ・ワインさん



チャオにあるどっしりとした鉄の薪ストーブは、桑原地区に住むイエルカ・ワインさんの作品です。４０年前に始めた薪ストーブ作りは、故郷・チェコのライ麦パンを焼くためだったそう。スタイリッシュなデザインは全部で６種類。ピザも焼けるオーブン付きモデルが人気だそうです。工房には、冬の訪れを前に全国各地へ旅立つ予定のストーブ達が並んでいました。

自然をこよなく愛するイエルカさんは、身の回りのものを何でも生かして手作りする名人。今回の訪問では、自作のポットとマグカップでおいしいコーヒーをいただきました。

**今シーズンの議会だよりでは、村で活躍する職人・クラフト作家さんにスポットを当ててご紹介します**

# 広報委員会紹介



「伝わる広報」を
目指します
大島　　歩

ついつい開いちゃう
そんな広報を目指します
湯澤　充尋

現場の声を
お届けします
米山　永子

最年少ですが、
頑張ります！
山岸　裕亮

## 編集後記

議会 18 期はフレッシュな顔ぶれとなり議会広報委員も４名が新人でしかも若手が多い顔ぶれとなりました。議会の様子を知ることは村の今を知ることになり、以前から取り組んできました議会をわかりやすく親しみの持てるように村民の皆様にお伝えする紙面づくりを心がけてまいります。気軽にご意見等をいただき良い中川村づくりに一緒に進んでいきましょう。

（宮崎育王）

印刷　龍共印刷株式会社